文教大学情報学部社会調査ゼミナール研究報告

流行と映画の選択要因とその傾向

2010年2月

情報学部 広報学科 3年

柴崎 康輔

流行と映画の選択要因とその傾向 柴崎 康輔

目次	
第1章 研究の概要	
1 . 1 研究の背景と目的	2
1.2 研究の方法	3
(1)進捗経緯	
(2)調査の概要	
1 . 3 成果の概要	4
(1)主な成果	
(2)その他の成果	
第2章 研究の成果	
2 . 1 調査回答者の概要	6
2.2 映画館と DVD・BD の利用比較	7
(1)利用頻度	
(2)媒体別に見る洋画・邦画選択差	
(3)媒体別に見るジャンル差	
(4)各媒体の利用の良さ	
2.3 男女差による映画館と DVD・BD 利用比較	12
(1) 視聴方法・利用頻度の比較	
(2)ジャンル差	
2.4 流行感度による人気作品の選択差	14
(1)映画館で視聴した場合	
(2)DVD・BD 視聴した場合	
第3章 まとめと今後の課題	
3 . 1 研究のまとめ	18
3 . 2 反省点と今後の課題	18
参考文献	19
単純集計結果	20

1.1 研究の背景と目的

映画の定義とは、狭義には映画館で上映される動画作品のこと。おおまかに説明すると 映画館のスクリーンに映しだされた動く写真のことを指す。古くは活動写真とも呼ばれて いた。

映画は、19世紀にリュミエール兄弟によって発明され20世紀に大きな発展を遂げた新しい芸術である。しかし映画は、20世紀から21世紀にかけて科学技術や産業の大きな発展、社会の変容を受けて大きく様相を変えている。映画を見る行為は"内容をしっかり理解する"ということだと考える。映画館はお金を払って真っ暗な空間で知らない人たちと一緒に大きなスクリーンに映し出された動く写真であり、映画館に行くということは"映画を見ることで満足"できる施設だと考えている。

しかし、「映画を見る」ということは、「映画館という空間のなかに身を置く」ことと同じ意味であったが、現在では同じではない事が多い。大きな要因は、映画作品を家でも気軽に見られることにある。映画興行成績のベストテン同様に、映画ソフトのレンタル貸し出しベストテンや DVD の売上ベストテンが注目されている。このことからも映画館以外の場所で個人的に映画作品を見ることが多くなってきている。やはり現在では、映画館に行き「映画を見る」ことと家で「映画を見る」ことでは映画作品を見ることにおいての違いがあるのかもしれない。

そして、映画は世の中に数多くあるがカンヌやベルリンなどの国際的な賞を獲れるような優秀な映画は、そのほとんどが全世界で有名となり、世間で流行して、人気作品となる場合が多い。これとは別に大きな賞を獲らずとも話題性や有名な監督、または有名人を起用、有名な作品、有名作品の続編などの映画は、世間で流行して人気となっている場合が多い。

こういった国際的な賞と獲った作品を獲って人気となった作品や大きな賞を獲らずとも人々の間で人気となった作品映画など多数の映画をいろいろな手段で見ることが出来る世の中で、人々の間で人気となった映画のメディア選択は映画館と DVD ではどちらの方が多く選択するのか、賞を獲らずとも人気となる映画が流行していくのは映画館と DVD のどちらからなのかまたはその他が関係しているのかそれを検討したい。

1.2 研究の方法

(1)進捗経緯

・~7月:研究テーマ検討、決定

·8~10月:調査表作成

・11月:調査表完成、調査表配布、回収、集計、単純集計結果報告

・12月:研究結果提出

(2)調査の概要

- a.調査の意図・仮説
- ・DVD で見る人の方が流行に敏感である。
- ・映画のジャンルによって流行するかどうか違ってくる。
- ・人気のある映画は竜子の感度によって視聴数が変わってくる。 以上の3点を中心に調査を実施する。

b.調査対象者と方法

·調査対象者: 文教大学生

・調査方法:紙面によるアンケート調査

c . 主な調査項目

- ・映画全般…好きなジャンル、国際的な賞
- ・映画館…利用回数、利用の良さ、近くに映画館の有無、ジャンル、試写会、同伴視聴者
- ・DVD…利用回数、購入数、利用の良さ、近くにレンタルショップの有無、ジャンル 同伴視聴者
- ・流行について…流行に敏感か

d . 依頼数と回答数

・配布数:110枚(映像情報論:76枚、コミュニティと環境問題:34枚)

・回収数:110枚(映像情報論:76枚、コミュニティと環境問題:34枚)

・有効回収数:110枚(映像情報論:76枚、コミュニティと環境問題:34枚)

1.3 調査回答者の概要

(1) 主な成果

映画館と DVD・BD(ブルーレイ)のどちらで映画を見るかという選択を集計した結果を図 1 - 3 - 1 に示す。107 名の回答者のうち映画館派は約 36%(38 名) DVD・BD 派は約 55%(59 名)と映画館で見る行為よりも DVD・BD で見ると答えた人のほうが多いことがわかる。

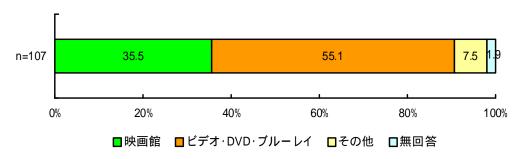


図 1-3-1 映画のメディア選択

図 1 - 3 - 2 は映画視聴方法の男女差 (男性 40 名、女性 60 名)を集計した結果である。

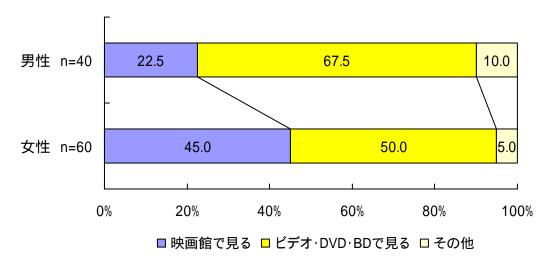


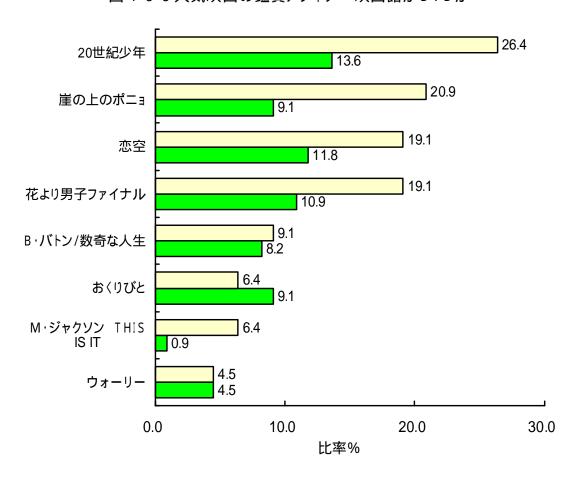
図1-3-2 映画館利用頻度の男女差

結果より女性は、映画の視聴において「ビデオ・DVD・BD で見る」は 50%であり、「映画館で見る」は 45%であるので視聴方法においてはあまり差がないことが分かった。 しかし、男性は「ビデオ・DVD・BD で見る」は約 68%であり、「映画館で見る」は約 23%であるのでビデオ・DVD・BD を利用していることの方が多いことが分かった。

図 1 - 3 - 3 は、人気映画を映画館で見るのか、DVDで見るのかの集計結果である。 人気映画を事例的に取り上げて調査しているが、結果は下記のようになっている。

- ・事例に取り上げた鑑賞度合の高い映画では、映画館で見る度合いが高い。上位の半分で 見ると、おおよそ倍である。
- ・下位の半分で見ると、映画館とDVDでは、さして差はない。ほぼ同程度である。 この様な傾向を見ると、全体としては映画館での鑑賞が多いことが分かる。人気映画を 作れば、映画館鑑賞が増えると言うことは言えよう。

図 1-3-3 人気映画の鑑賞メディア - 映画館かDVDか -



■DVD n=108 □映画館 n=108

(2) その他の成果

- ・男性と女性では映画を視聴する方法、頻度が違ってくる。 男性では、DVD・BDの視聴が多く、女性は映画館での視聴が多いことがわかった。
- ・男性と女性では好きなジャンル違う 男性では、アクション・アニメが好きな傾向が強く、女性はラブストーリー・コメ ディが好きという傾向が強い。

第2章 研究の成果

2.1 調査回答者の概要

調査対象者は文教大学湘南校舎の学生 103 名で、「映像情報論」、「コミュニケーションと環境問題」の 2 クラスで紙面によるアンケート調査を実施した。

なお、回答標本は無作為抽出で作成してはいないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表 2 - 1 - 1 と表 2 - 1 - 2 で確認しておく。表 2 - 1 - 1 の学生分布では、3 年次 67.3% (74 人) 4 年次 28.2% (31 人) 無回答 4.5% (6人)の計 110 人となっている。3 年次の割合が高く、1 年次と 2 年次はゼロである。

また、表 2 - 1 - 2 の性別の分布では、男性 36.4% (40 人)、女性 58.2% (64 人)、無回答 5.5%(5 人)の計 110 人と女性の割合が高くなっている。これらの偏りは、回答者全体の分析にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかし、クロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定されると考える。

表 2-1-1 回答者と母集団の比較:学年別分布

	1年	2年	3年	4年	無回答	計
回答者	0.0	0.0	67.3	28.2	4.5	100.0
	(0)	(0)	(74)	(31)	(5)	(110)
湘南キャンパス	27.3	27.1	22.0	23.6	(-)	100.0
学生	(941)	(934)	(760)	(812)	(-)	(3447)

(注)母集団は湘南キャンパス 2009.09 末時点である。

表 2-1-2 回答者と母集団の比較:性別分布

	男性	女性	無回答	計
回答者	36.4	58.2	5.5	100.0
	(40)	(64)	(6)	(110)
湘南キャンパス	51.8	48.2	(-)	100.0
学生	(1786)	(1661)	(-)	(3447)

(注)母集団は湘南キャンパス 2009.09 末時点である。

2.2 映画館とDVD・BDの利用比較

(1)利用頻度

図 2-2-1 は、映画館の利用を集計した結果である。107 名の回答者のうち、一番多いのは「2-3 回」が約 36%であり、次に多いのが「1 回」と答えた人が約 21%、行かないと答えた人は 14% と 8 割の人が年に映画館に行くことが分かる。期間が長いこともあるが「2-3 回」と答えた人が 4 割近くを占めていた。

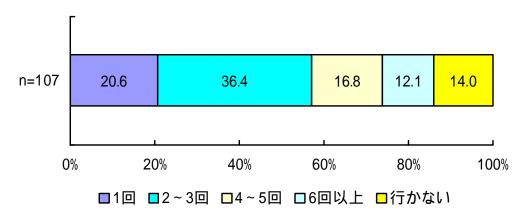


図 2-2-1 4月以降(約6ヶ月)で映画館に行く回数

図 2 - 2 - 2 は、レンタル DVD の利用を集計した結果である。110 名の回答者のうち、一番多いのは「5 本以下」が約 42%であり、次に多いのが「見ない」と答えた人が約 26%であった。レンタル DVD では、10 本以下を答えた人が 6 割以上を占めていた。

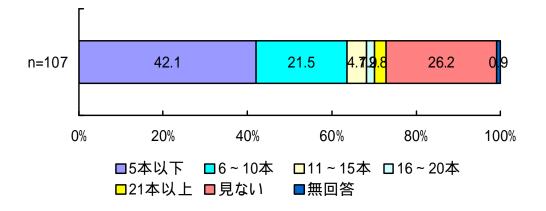


図 2-2-2 3月間でレンタルDVDを借りる回数

図 2-2-3 は、映画館の利用回数の二区分とレンタル DVD・BD の利用回数の二区分を集計した結果である。

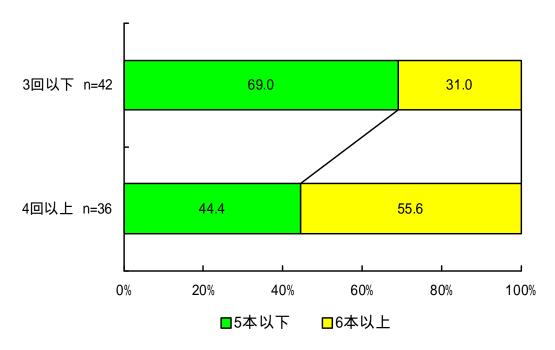


図2-2-3 映画館観賞とレンタルDVD·BD観賞の頻度

結果より、映画化鑑賞が多いグループは DVD・BD のレンタル数も多く、映画館観賞が少ないグループは、DVD・BD のレンタル数が少ないことが分かった。なお、この結果に有意差は見ることが出来た。

図 2 - 2 - 4 は、DVD・BD の購入を集計した結果である。79 名の調査対象者のうち、一番多いのは「買わない」が約 61%であり、次に多いのが「2~3 枚」と答えた人が約 24%

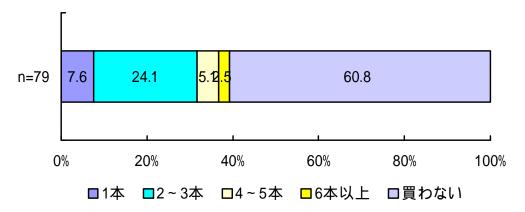


図 2 - 2 - 4 4ヶ月でDVD·BDを買う回数

であった。期間が長いこと関係なく DVD・BD の購入をしないと答えた人が 6 割近くを占め半分以上が答えたのが分かった。

(2)媒体別に見る洋画・邦画選択差

映画館と DVD の 2 つで洋画と邦画の選択を集計した結果を図 2 - 2 - 5 に示す。「映画館」と「DVD」の 2 グループで集計を行って両者は、映画館が 93 名、DVD が 79 名であった。

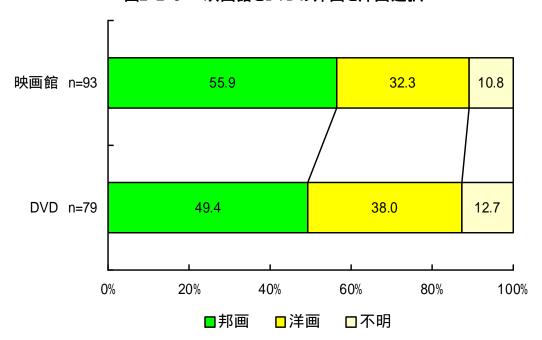


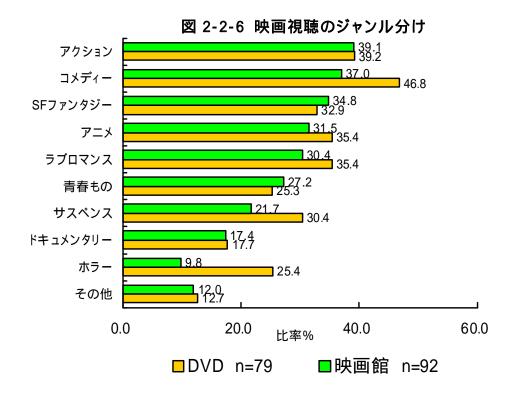
図2-2-5 映画館とDVDの邦画と洋画選択

結果から、映画館で邦画を見る人は約 56%、DVD では約 49%となり両者とも邦画を見ることの方が高いことが分かる。

(3)媒体別に見るジャンル差

映画館と DVD の 2 つでよく見る映画のジャンルの選択を集計した結果を図 2 - 2 - 6 に示す。「映画館」と「DVD」の 2 グループで集計を行い、両者間で、特に明確な差が表れたものを抽出した。両者は、映画館が 92 名、DVD が 79 名である。

結果から、DVD は「ラブロマンス」の約30%、「コメディー」の約47%、「ホラー」の約25%とある。特に「ホラー」に至っては、映画館との差が歴然であることが見て取れる。つまり全体的に映画館で見るよりもDVDで見る傾向が高いことが分かる。特に映画館では、迫力等が出ることが逆に恐怖効果が高すぎて見るのをためらってしまいそうなジャンルにDVDで見る傾向が高いことが分かる。



(4) 各媒体の利用の良さ

図2-2-7は、4月以降に映画館に行く回数を二区分したものをその映画館の視聴の良さ

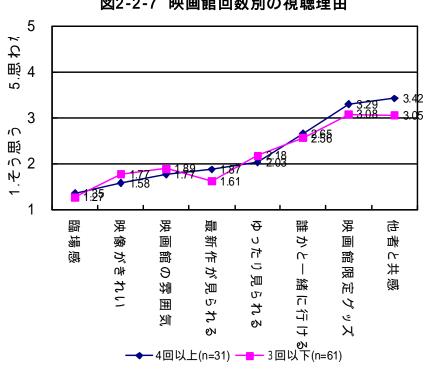


図2-2-7 映画館回数別の視聴理由

別に集計した結果である。この図は映画館での視聴の良さに対して、「1.そう思う」~「5. そう思わない」の 5 段階評価をしてもらい、その平均値を求めたものである。1に近ければそう思うと感じる度合いが高くなっている。

結果から全体的に回数別グループにあまり差異が見られず、どちらも同じ傾向であるのが分かった。しかし、「最新作が見られる」という流行を意識した項目では4回以上と答えたグループの方が多かった。また、映画館にしかない特徴について「1.そう思う」と答えたグループは3回以下のグループの方が多かった。「他者と共感」については有意差が見られた。

図2-2-8は、3ヶ月の間にレンタル DVD を利用した回数を二区分したものをその映画館の視聴の良さ別に集計した結果である。この図はレンタル DVD での良さに対して、「1. そう思う」~「5. そう思わない」の 5 段階評価をしてもらい、その平均値を求めたものである。1に近ければそう思うと感じる度合いが高くなっている。

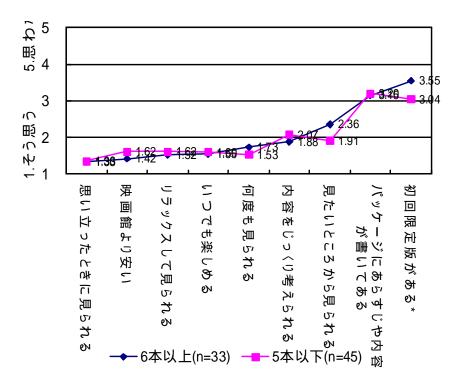


図2-2-8 レンタルDVD回数別の視聴理由

結果から全体的に回数別グループにほとんど差異が見られず、どちらも同じ傾向であるのが分かった。しかし、「見たいところから見られる」という項目に関しては5枚以上と答えたグループの方が多かった。「見たいところから見られる」「初回限定版がある」については有意差が見られた。

2.3 男女差による映画館とDVD・BD利用比較

(1)利用頻度

図2-3-1は映画視聴方法の男女差(男性40名、女性60名)を集計した結果である。

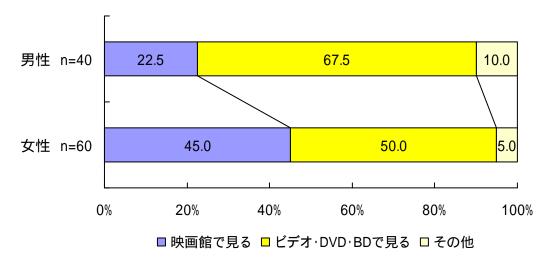


図2-3-1 映画視聴方法の男女差

結果より女性は、映画の視聴において「ビデオ・DVD・BD で見る」は 50%であり、「映画館で見る」は 45%であるので視聴方法においてはあまり差がないことが分かった。 しかし、男性は「ビデオ・DVD・BD で見る」は約 68%であり、「映画館で見る」は約 23%であるのでビデオ・DVD・BD を利用していることの方が多いことが分かった。

図 2-3-2 は映画館利用頻度の男女差(男性 40 名、女性 62 名)を集計した結果である。

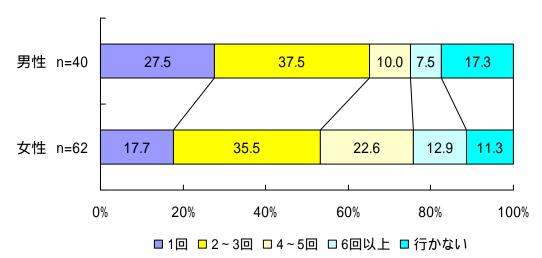


図2-3-2 映画館利用頻度の男女差

結果より、次のような傾向を見ることが出来る。男性は「2~3回」と答えた人が約38%と一番多く、次いで、「1回」と答えたのが約28%と続く。一方、女性は男性と同じ1番多いのは、「2~3回」で約36%であった。次いで、「4~5回」が約23%と続く。女性の方は、「6回以上」にも約13%であるので女性の方が映画館を頻繁に利用していることが分かる。

図 2 - 3 - 3 は映画館利用頻度の男女差(男性 40 名、女性 62 名)を集計した結果である。

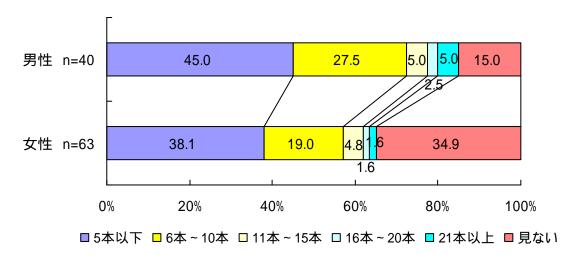


図2-3-3 DVD·BD利用頻度の男女差

結果より、次のような傾向を見ることが出来る。男性は「5 本以下」と答えた人が 45% と一番多く、次いで、「6 本 ~ 10 本」と答えたのが約 28%と続く。一方、女性は男性と同じ 1 番多いのは、「5 本以上」で約 38%であった。次いで、「見ない」が約 35%と続く。男性の方が、11 本以上利用すると答えた人が約 13%いるのに対して女性は 8%と明らかに男性の方がレンタル DVD を頻繁に利用していることが分かる。

これらの結果より、映画の視聴ということにだけに関して言えば女性は映画館と DVD・BD のどちらも見ているが、女性は映画館利用の方が多かった。男性は、視聴方法も利用頻度においても DVD・BD 利用の方を多く利用しているという傾向がわかった。

(2)ジャンル差

図 2 - 3 - 4 は、男女差による映画の好きなジャンル (男性 37 名、女性 62 名)を集計した結果である。

結果より、男女によって映画のジャンルが異なることが分かった。男性で一番多く超えたジャンルは約30%の人がアクションと答えた。次に、多かったのが約14%の人が答えたサスペンス、アニメであった。女性では、一番多く答えたジャンルは約23%の人が答えたコメディーであった。次に、多かったのが約18%の人が答えたラブロマンスであった。

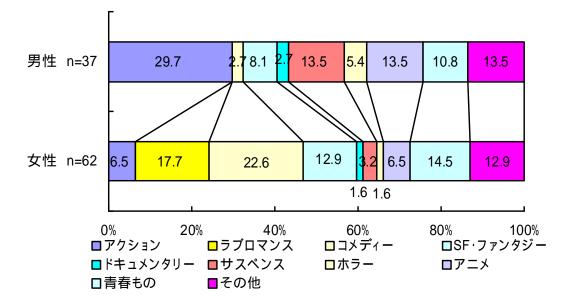


図2-3-4 映画の好きなジャンルの男女差

このように男女の差で好きなジャンルというのは大きく変わってくることが、結果から分かった。推測として男性はアクションやアニメが好きという点から子供のころから好きだったものに影響されて見るジャンルが決まり、女性は恋愛や芸能といったものが好きだからという点で差が出るのではないかと思った。そしてこの結果に有意差は見られた。

2.4 人気作品と映画メディアの選択

(1)映画館とDVDの選択

映画ではしばしば人気作品が公開される。公開前から人気が出ることもあるし、公開中に国際賞等を受賞して、人気が高まることもある。そこで人気作品を学生はどの様な手段、すなわち映画館で見るのか、DVDで見るのかを調べてみた。その集計結果を図 2-4-1 に示す。同図では、映画館で見た度合の高い映画順に配列しているが、主な結果は下記のようになっている。

- ・事例に取り上げた鑑賞度合の高い映画では、映画館で見る度合いが高い。上位の半分で 見ると、おおよそ倍である。
- ・下位の半分で見ると、映画館とDVDでは、さして差はない。ほぼ同程度である。

この様な傾向を見ると、全体としては映画館での鑑賞が多いことが分かる。人気映画を 作れば、映画館鑑賞が増えると言うことは言えよう。

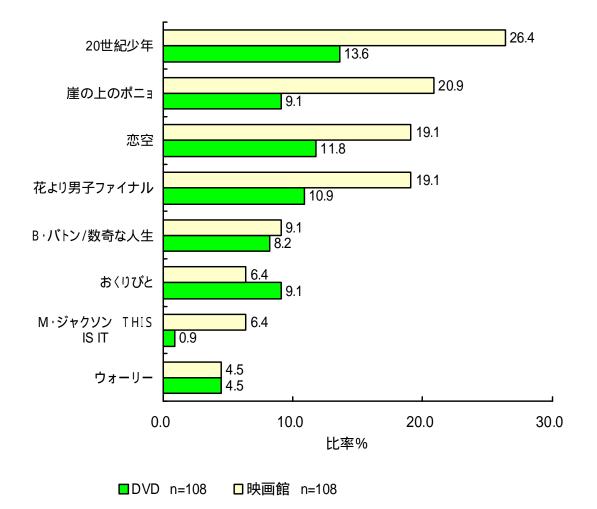


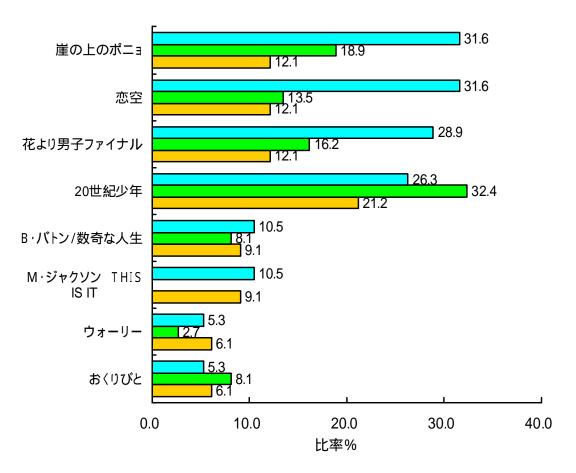
図 2-4-1 有名映画の鑑賞メディア - 映画館かDVDか -

(2)流行感度と映画鑑賞

調査では流行への敏感さを5段階で聞いている。その集計結果から、流行感度別のグループを3つ作っている。敏感グループ(敏感・やや敏感の38名)中間グループ(どちらでもない37名) 鈍感グループ(鈍感・やや鈍感の33名)である。この3つのグループで人気映画作品が映画館で上映されていたときに映画を見に行った人を集計した結果を図2-4-2に示す。

同図によると、概して敏感グループはその他のグループより鑑賞の度合が高く、上位の3例で見ると、敏感グループの鑑賞比率はおおよそ他の倍程度になる。下の5例では、グループ間にはあまり差はない。これを見ると、人気映画の鑑賞は敏感グループに支えられているのが分かる。



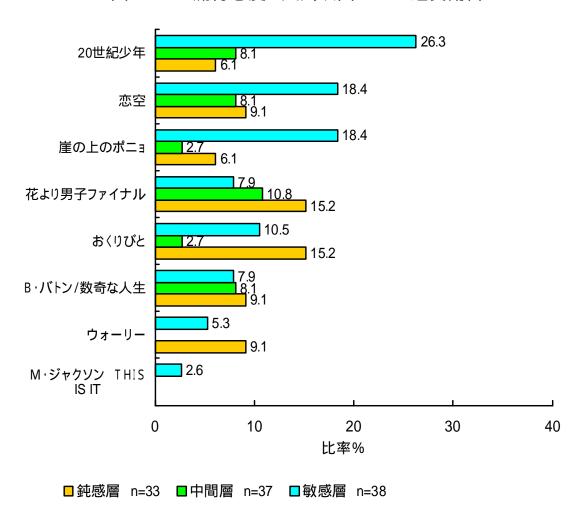


□鈍感層 n=33 □中間層 n=37 □敏感層 n=38

同様な集計をDVDに対して行った結果を図 2-4-3 に示す。この場合も上位は敏感層の比率が高く、下位となるとあまり規則性は見えない。

この様な2つの集計結果の傾向から見ると、人気映画の人気たる理由は、映画館でもDVDでも、流行敏感層がリードする形で作られていくことが理解できる。

図 2-4-3 流行感度と人気映画のDVD鑑賞割合



第3章 まとめと今後の課題

3.1 研究のまとめ

まず、今回の調査目的を抑えておきたい。 DVD で見る人の方が流行に敏感である。 映画のジャンルによって流行するかどうか違ってくる。 人気のある映画は流行の感度によって視聴数が変わってくる。この3点が調査目的の中心であった。

これらを調査するのに、まず映画館と DVD・BD・ブルーレイの利用の有無であるが約 9 割が利用していることが分かった(図 1 - 3 - 1 》 さらにどのような利用差があるのかというのを調べるために、映画館と D V D・B D それぞれの利用頻度(図 2 - 2 - 1)(図 2 - 2 - 2) 邦画・洋画選択差(図 2 - 2 - 5) ジャンル選択差(図 2 - 2 - 6) 男女差(図 2 - 3 - 1)~(図 2 - 3 - 4)で比較を行った。そして仮説で立てた予想とは違うのだが、単に映画館と D V D・B D の利用比較を行っても若干ではあるが、 D V D・B D 利用の方が多く利用差からしても D V D・B D 利用している人の方が流行に敏感であるのではないかと推測できそうだがあまり差を見ることが出来なかった。男女差で利用比較をすると映画館をよく利用するのは女性、 D V D・B Dをよく利用するのは男性という風にきれいに分けることが出来た。

好きなジャンルにおいても男性が好きと答えたジャンルは、アクションとサスペンス、アニメであり、女性では、コメディー、ラブロマンスであった。男女の差で好きなジャンルというのは大きく変わってくることが分かった。推測として男性はアクションやアニメが好きという点から子供のころから好きだったものに影響されて見るジャンルが決まり、女性は恋愛や芸能といったものが好きだからという点で差が出るのではないかといえるのではないか。

そして、2008年、2009年で人気または国際的な賞を獲った作品に絞り鑑賞方法を映画館とDVD・BD別に聞いた問では、上位の人気作品は映画館で見る度合がDVDで見るよりも倍程度は高いことが分かった。この様な傾向を見ると、人気映画を作れば、映画館鑑賞が増えると言うことが言える。

最後に、流行に対する敏感さがどの様に映画鑑賞に影響するかを調査した。結果は映画館もDVDも、特に上位の映画については、敏感層の鑑賞度合いが高く、流行敏感層が人気映画のリーダー的存在であることが分かった。この様な差は、人気映画としても下位の映画では見ることが出来なかった。

3 . 2 反省点

・【回答者数】

もう少し多くの回答者のデータが欲しかった。

・【設問の有意差】

有意差が出る設問が少なすぎた。

目的の調査について有意差が見ることが出来なかった。

・【調査票の設問】

調査・集計後に回答に矛盾が生じる点や同じ回答が見つかって、調査前にもう少し 慎重に見直しをして、設問の作成をすれば良かった。

設問の選択肢が多くなってしまった設問がいくつかあり、回答者数が散らばりすぎ てしまった問題がいくつかあった。

これらの点を踏まえて次回の調査に生かしていきたい。

参考文献

【書籍】

・牛田あや美 「ATG 映画 + 新宿」 D文学研究会 2007 年 12 月

【web サイト】

- ・井坂裕子 「私たちが映画に求めるもの」文教大学社会調査ゼミナール研究報告(2005) http://www.bunkyo.ac.jp/~mediares/2005/sem12/1isaka-f.PDF
- ORICON STYLE
 http://www.oricon.co.jp/rank/

【謝辞】

最後に、本研究においては、調査の実施に際して多くの学生諸君から回答をいただいた。 この調査協力に対しては心から御礼を申し上げる次第である。調査表を作成するまでの過程では、ゼミメンバーをはじめとして、多くの方から示唆を頂いた。また研究の実施全般に対しては、指導教授の八ツ橋先生から様々な示唆を頂いた。これらの皆さんに対して、改めて謝意を表します。

映画の見方の調査単純集計結果

2009.10

情報学部広報学科 ハツ橋ゼミ 柴崎康輔

卒業研究のための調査です。無記名ですので率直にお答えください。

それでは以下への回答をお願いします。

問 1 あなたは映画館、レンタル DVD などで映画を見ますか。(1つだけに) n=110

1. よく見る 26.4 2. ときどき見る 43.6 3. あまり見ない 27.3 4. 見ない 2.7 問4へ

問 2 映画を見るとき、どの方法で見るのが多いですか。(1つだけに) n=107

1. 映画館 35.5 2. ビデオ・DVD・BD (ブルーレイ) で見る 55.1 3. その他 7.5 無回答 1.9

問3 あなたは今年の4月以降で映画館にどれくらい行きましたか。(1つだけに)n=107

1.1回20.6

2.2~3回 36.4

3.40~50 16.8

4.6回以上 12.1

5. 行かない 14.0 問4へ

付問 1 あなたは映画館で邦画と洋画どちらをよく見ますか。(1つだけに)n=93

1. 邦画 55.9 2. 洋画 32.3 3. わからない 10.8 無回答 1.0

付問 2 あなたが映画館でよく見る映画のジャンルは何ですか。(いくつでも) n=92

1. アクション 39.1 2. ラブロマンス 30.4 3. コメディー 37.0

4. SF・ファンタジー 34.8 5. ドキュメンタリー 17.4 6. サスペンス 21.7

7. ホラー 9.8 8. アニメ 31.5 9. 青春もの 27.2 10. その他 12.0

付問3 あなたは映画の試写会に行きますか。(1つだけに)n=93

1. よく行く 0.0 2. ときどき行く 4.5 3. あまり行かない 14.0 4. 行かない 79.6 無回答 1.1

付問4 あなたは映画を見るときに誰と見るのが多いですか。または1人で見に行きますか。

(1つだけに) n=93

1. 友人 52.7 2. 家族 8.6 3. 恋人 21.5 4. 一人 15.1 無回答 2.2

問4 あなたが行きやすいところに映画館はありますか。(1つだけに)n=110

1. はい 68.2

2. いいえ 31.8

問5 あなたが思う映画館の良さについて、下記のA~Hの項目に答えてください。

(それぞれ1つずつに) n=110

	そう思う	ややそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	無回答
A. 臨場感が良い	70.6	25.7	2.8	0.9	0.0	
B. 映像がきれいなのが良い	54.5	22.7	13.6	8.2	0.9	
C. 最新作が見られるのが良い	61.8	17.3	10.9	6.4	3.6	
D. ゆったりと見られるのが良い	40.0	24.5	12.7	13.6	8.2	0.9
E. 映画館の雰囲気が好き	44.5	30.9	14.5	7.3	2.7	
F. 映画館限定のグッズがあるのが良い	17.3	12.7	27.3	18.2	24.5	
G. 他者と共感できるのが良い	15.5	14.5	24.5	22.7	22.7	
H. 誰かと一緒に行けるのが良い	25.5	26.4	18.2	17.3	12.7	

問6 過去3ヶ月のうちにあなたはレンタル DVD でどれくらい映画を見ますか。(1つだけに) n=110

- 1.5本以下 40.9 2.6本~10本 20.9
- 3.11~15本 3.6

- 4.16~20本 1.8
- 5. 21 本以上 2.7

6. 見ない 28.2 問8へ 無回答 1.8

問7 あなたは今年の4月以降で DVD・BD をどれくらい購入しますか。(1つだけに) n=79

1.1枚 7.6 2.2~3枚 24.1 3.4~5枚 5.1 4.6枚以上 2.5 5.買わない 60.8

付問1 あなたは DVD・BD では邦画と洋画どちらをよく見ますか。(1 つだけに) n=79

- 1. 邦画 49.4
- 2.洋画 38.0
- 3. わからない

12.7

付問 2 あなたが DVD・BD でよく見る映画のジャンルは何ですか。(いくつでも) n=79

- 1. アクション 39.2 2. ラブロマンス 35.4 3. コメディー 46.8
- 4. SF・ファンタジー
- 32.9 5. ドキュメンタリー 17.7 6. サスペンス

- 7. ホラー 25.4 8. アニメ 35.4 9. 青春もの 25.3 10. その他 12.7

付問3 一緒に DVD・BD を見る回数が多いのは誰ですか。(1つだけに) n=79

- 1. 友人 12.7 2. 家族 10.1 3. 恋人 19.0 4. 一人 54.4

無回答 3.8

30.4

問8 あなたが行きやすいところにレンタルショップはありますか。(1 つだけに) n=110

- 1. ある
- 82.7

- 2. ない
- 17.3

問9 あなたが思うDVD・BDで見る良さについてA~Iの項目に答えてください。

(それぞれ1つずつに) n=110

	そう思 う	ややそう思 う	どちらともいえ ない	あまりそう思わ ない	そう思わな い
A. 思い立ったときに見られるのが良い	64.5	27.3	6.4	0.9	0.9
B. 映画館に比べて安いのが良い	64.5	18.2	11.8	3.6	1.8
C. 何度も見られるのが良い	58.2	22.7	12.7	4.5	1.8
D. リラックスして見られるから	57.3	26.4	11.8	2.7	1.8
E. いつでも楽しめる	56.4	27.3	12.7	2.7	0.9
F. 内容について考える余裕があるのが良い	39.4	23.9	21.1	11.9	3.7
G. 見たいところから見られるのが良い	40.0	25.5	16.4	10.9	7.3
H. 初回限定版があるから	12.7	13.6	30.0	20.9	22.7
I. パッケージにあらすじや内容が書いてあるのが良い	12.7	16.4	33.6	15.5	21.8

ここからは皆さんお答えください。

問 10 あなたはどれくらいアルバイトをしていますか。(1 つだけに) n=110

- 1.週1回 5.5

- 2.週2~3回 48.2 3.週4~5回 16.4
- 4. 週6回 0.0 5. 毎日 0.9

- 6. していない 29.1
 - 問 11 へ

問 11 アルバイトで毎月どれくらい稼いでいますか。(1つだけに) n=78

- 1. 1万~3万未満 24.4
- 2. 4万~6万未満 34.6
- 3. 4万~6万未満 15.4
- 4.7万以上 25.6

問 12 あなたが1ヶ月に自由に使えるお金はいくらですか。(1つだけに) n=110

1. 1万円未満 10.0

2. 1万~3万未満 53.6

3.5~9万未満 28.2

4.10万以上 4.5 無回答 3.6

問 14 あなたは 1 ヶ月のうちに自由にできる時間は多いですか。(1つだけに) n=110

1. 多くある 23.6 2. ややある 35.5 3. どちらともいえない 21.8

4. あまりない 16.4 5. 全くない 0.0

無回答 2.7

問 15 あなたは流行に関して敏感ですか。(1つだけに) n=110

1. 敏感である 9.1

2. やや敏感である 25.5 3. どちらともいえない 33.6

4. あまり敏感でない 22.7

5. 敏感でない 7.3 無回答 1.8

問 16 あなたは映画を見るきっかけでどの方法が一番多いですか?A~E の項目に答えてください。

(それぞれ1つずつに) n=110

	あてはま る	ややあては まる	どちらとも いえない	あまりあて はまらない	あてはまらな い	無回答
A. 予告を見たとき	48.2	35.5	10.9	2.7	2.7	
B. 最新作が見たいから	16.4	21.8	31.8	17.3	11.8	0.9
C. 雑誌、新聞など紙媒体を見たとき	23.6	30.0	23.6	13.6	9.1	
D. インターネットのサイトを見たとき	23.6	30.0	23.6	13.6	9.1	
E. TV の CM を見て	47.3	31.8	9.1	10.0	1.8	
F. 口コミなどで聞いたとき	25.5	31.8	19.1	19.1	4.5	
G. 暇なとき	17.3	22.7	22.7	18.2	19.1	

問 17 あなたの 1 番好きな映画のジャンルは何ですか。(1 つだけに) n=110

1. アクション 13.6

2. ラブロマンス 10.0 3. コメディー 13.6

4. SF・ファンタジー 10.0 5. ドキュメンタリー 1.8 6. サスペンス 6.4 7. ホラー 2.7

8. アニメ 9.1 9. 青春もの 11.8 10. その他 11.8 無回答 9.1

問 18 あなたは国際的な賞を受賞した作品をどこで知りますか。(1つだけに) n=110

1. 映画館で上映される前 25.5

2.映画館で公開中 49.1

3. DVD が発売されてから 16.4

無回答 9.1

問 19 下記の映画を映画館で見た事がある映画はどれですか。(いくつでも) n=110

1. マイケル・ジャクソン THIS IS IT 6.4 2. ウォーリー 4.5 3. 20 世紀少年 26.4

4. おくりびと 6.4 5. ベンジャミン・バトン/数奇な人生 9.1 6. 崖の上のポニョ 20.9

8. 花より男子ファイナル 19.1 9. 恋空 19.1 7. ATOM 0.0

無回答 41.8

問 20 下記の映画を DVD・BD で見た事がある映画はどれですか。(いくつでも) n=110

1. マイケル・ジャクソン THIS IS IT 0.9 2. ウォーリー 4.5 3. 20 世紀少年 13.4

4. おくりびと 9.1 5. ベンジャミン・バトン/数奇な人生 8.2 6. 崖の上のポニョ 10.9

7. ATOM 0.0 8. 花より男子ファイナル 10.9 9. 恋空 11.8 無回答 63.6

最後にあなた自身のことについてお聞きします。

F 1 性別 n=110

1. 男性 36.4 2. 女性	58.2	無回答	5.5
------------------	------	-----	-----

F 2 学年 n=110

1. 1年 0.0 2. 2年 0.0 3. 3年 67.3 4. 4年 28.2 無回答 4.5

F 3 学科 n=110

- 1. 広報学科 77.3 2. 経営情報学科 2.7 3. 情報システム学科 1.8 4. 国際関係学科 6.4
- 5. 国際コミュニケーション学科 7.3 6. 健康栄養学科 0.0 無回答 4.5

F 4 世帯状況 n=110

1. 一人暮らし 53.6 2. 家族と同居(実家)39.1 3. その他 2.7 無回答 4.5

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。